



# 東濃地区の子育て・親育ち通信

## 家庭教育 なう No.6

2020年8月発行 TEL 0573-26-1111 <内線 209>  
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 奥村 FAX 0573-25-7129  
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71 MAIL okumura-tamiko@pref.gifu.lg.jp

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。

家庭教育「なう」QRコード →

### 夏休みの時間を大切にして 親子のふれあいを深めましょう

親子のふれあいを深めるために、「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動に取り組んでみましょう!

**保護者の皆様へ**

「話そう! 語ろう! わが家の約束」実践カード

「家庭教育を実施する日」は 毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

月	日						
曜日							
振り							
廻り							

わが家の約束を深めよう。

子どもから 家族へのメッセージ

家族から 子どもへのメッセージ

「話そう! 語ろう! わが家の約束」実践カード

「家庭教育を実施する日」は 毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

月	日						
曜日							
振り							
廻り							

子どもから おうちのかたへ

おうちのかたから 子どもへ

子どもたちの  
健やかな成長のために

岐阜県は、「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動を推進しています。

岐阜県

小学校高学年・中学校用

幼児用・小学校低学年用



実践カードQRコード

誰かのために  
何かができる  
~「1家庭1ボランティア」運動~

あなたの行動が、あなたがいかに成長を促します。家庭に、学校に、地域に、みんなの力を合わせよう。

声をかけ合い、応え合い、「ありがとう」の気持ちを伝え合いましょう。

「1家庭1ボランティア」運動って

「1家庭1ボランティア」運動は、豊かな心と行動に育みあつたことを願って進めている県民運動です。

- 家族と一緒にごみ拾い
- 友だちと協力して地域行事の準備
- 家庭でのお手伝い
- 学校でのあいさつ活動や花づくり
- お年寄りとの交流 など

「あなたがいかに」を育む活動は、全てが「1家庭1ボランティア」から進んで取り組み、声をかけ合い、応え合い「ありがとう」の気持ちを伝えること。

岐阜県道徳教育振興会議・岐阜県道徳教育推進委員会

チャレンジしよう!  
1家庭1ボランティア チャレンジカード

誰かのために 何かができる

月	日	1	2	3
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			
月	日			

チャレンジしてよかった

チャレンジがから

Let's Challenge!  
1家庭1ボランティア チャレンジカード

誰かのために 何かができる

月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
月	日								
月	日								
月	日								
月	日								
月	日								
月	日								
月	日								
月	日								
月	日								
月	日								

チャレンジしてよかった

チャレンジがから



チャレンジカードQRコード

幼児用・小学校低学年用

小学校高学年・中学校用

家族や地域の人のために、「1家庭1ボランティア」に取り組んでみましょう!



## 土岐市立泉中学校 子育てサロン型 泉中サミット「夏制服ポロシャツモデル決定」

日時 令和2年7月31日(金)16:00~17:00

参加者 生徒:1・2年生学長 生徒会長 副会長 執行委員

保護者:泉中母親委員 泉小母親委員代表 泉西小母親委員代表

場所 泉中学校1Fワーク

### 生徒と保護者の交流を大切にして、生徒の主体性を育む家庭教育学級

泉中校区では、泉中・泉小・泉西小が連携して泉三校合同母親委員会を開催しています。年度末に、泉中3年生の保護者に呼びかけて、制服のリサイクルを行い、7月に制服バザーを開催しています。また、泉中では、生徒の主体性を育み、自分達で決めるということを大切にする「泉中サミット(生徒議会)」に取り組んでいます。

今年度は、令和3年度入学生から夏制服にポロシャツを導入するために、泉中サミットと制服バザーを同日に開催し、泉中サミットに家庭教育学級を合わせ、生徒と親が交流して、夏制服ポロシャツモデルを決定する話し合いを行いました。

#### 当日までの取組

- ・泉三校合同母親委員会では、昨年度から、夏制服へのポロシャツ導入に向けて、泉中夏服検討委員会を立ち上げて話し合いを行い、業者、仕様等について検討してきました。
- ・生徒は、話し合いのテーマ「ポロシャツの色」に向けて、クラスの意見を取りまとめてサミットに参加しました。

#### 当日の様子

- ・生徒会副会長の司会で話し合いが始まった。
- ・学長が順番に、クラスの意見を発表した。
- ・白色、水色、灰色、紺色の4色から1色を決定する。
- ・生徒4人が実際に着て、着ている様子からも考える。

#### 生徒の意見

- ・紺色がよい。白色は、透ける。
- ・着る時は、襟を立てない等、約束を決める。

#### 保護者の意見

- ・3年間の使用を考えてポロシャツを選んだ。
- ・生徒は紺色がいいと言うが、紺は暗い。夏に合わない。
- ・制服は、人に安心感を与えるもの。着るのは生徒の皆さん。親目線で考えると、水色はかわいらしさがある。グレーは、落ち着いている。

#### 司会者から

- ・クラスで、話し合いの経緯を話してから、もう一度アンケートを取った方がいいので、今回は、アンケートの結果から話し合いたい。

#### 保護者の感想から

- ・子どもが、よく考えて、いろいろな意見をもっていることが分かった。
- ・子どもの意見を直接聞くことができてよかった。

#### 生徒の感想から

- ・自分達の制服を自分達で意見を出し合って決める。すごいことだと思う。

#### 【このよさを学びたい!】

- ・「制服を決める」という大きなテーマについて、保護者と生徒が、互いの意見を直接聞くことができたこと。
- ・制服についての考えが、全校生徒とその保護者へと広がり、家庭での親子の対話へつながること。



保護者が参加した泉中サミット



司会は生徒会副会長が務めました



生徒がモデルになって試着しました

# 恵那市立明智こども園 講演会型・在宅取組型 「ミナモ先生のコロナ教室」

日時 令和2年7月20日(月)

参加者 明智こども園園児

場所 明智こども園遊戯室

<明智こども園 HP から>

## 子どもたちがミナモから習ったコロナ対策を、親子で取り組む家庭教育学級

岐阜県の「チーム清流ミナモ派遣事業」から、ミナモに来園してもらい、コロナ対策を教えてもらいました。ミナモは、マスクとフェイスシールドを着けて登場。子ども達は、みんなミナモが大好き。ミナモが登場すると、「ミナモもマスクしてる!」と、じっと見入っていました。ミナモから、コロナ感染症にならないためにどんなことに気を付けていけばいいのかを、クイズ形式で習いました。ミナモから習ったことを、おうちの人に伝えて、おうちでのコロナ対策につなげます。



マスクとフェイスシールドを着けてミナモ登場



コロナ対策をクイズで学びました

### 内容

- ・「くしゃみや咳をするときに守ることは?」「正しい手の洗い方は?」  
等と、ミナモ先生のクイズに答えながら、コロナ対策で大切なことをクラスごとに学びました。
- ・ミナモ先生から習ったことを、おうちに帰って、おうちの人に伝え、おうちでもコロナ対策に取り組みます。



ミナモ登場に子ども達はじっと見入っていました

### 【このよさを学びたい!】

- ・岐阜県の「チーム清流ミナモ派遣事業」を活用し、子ども達が大好きなミナモ先生からコロナ対策について教えてもらい、子ども達が集中して聴くことができたこと。
- ・こども園で学んだことが、子どもから家庭へと広がっていき、家庭での取組になっていくこと。

## ミナモ先生のコロナ教室で検索すると、明智こども園の様子が紹介されています!

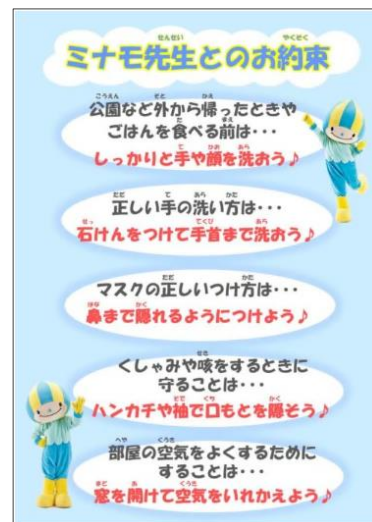
### 明智こども園

次は明智こども園です 🌈

遊戯室のすぐ横に給食室があるのでミナモと私はその様子が気になってしょうがない 😊

年長・年中・年少さん…さらに未満児さんにも披露したのですが

みんな距離を保ちながらしっかりと話を聞いてくれました 🌸



# 西濃県事務所「おうちで家庭教育」を紹介します

保護者が、学校や園に集まらなくても、家庭教育学級を行うことができます。家庭教育学級の在宅取組型を行う前に見ていただくことで、取り組む意義を確認することができます。

5つのテーマについて、プレゼンを見ることができ、子育てで大切なことを学ぶことができます。

解説付きプレゼン集

岐阜県：おうちで家庭教育

検索



## ◇「どう伝えるか?」(PDF:700KB)

「子どもが言うことを聞いてくれない。」「どうしたら○○ができるようになるの?」といった悩みに対し、お子さんへどのように自分の気持ちを伝えるとよいか、親子でどのように取り組むとよいかを紹介しています。

### 「どう伝えるか?」在宅取組案内文(Word:95KB)

保護者へ在宅取組型「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を案内する文書です。

## ◇「生活リズム」(PDF:628KB)

長い休業で「生活リズムががちゃがちゃしている。」「昼間ぼーっとしている。大丈夫かな?」といった心配があります。生活リズム(早寝早起き朝ごはん)が子どもの体や成長に大切であることを再確認することができます。

### 「生活リズム」在宅取組案内文(Word:41KB)

保護者へ在宅取組型「早寝早起き朝ごはん」運動を案内する文書です。

## ◇「愛着」(PDF:627KB)

「愛着」という土台がしっかりしているからこそ、子どもは健やかに成長し、自己肯定感をもち、人との関係性を築くことができることを解説しています。また、スキンシップやハグが愛着形成によいことを紹介しています。

### 「愛着」在宅取組案内文(Word:42KB)

保護者へ在宅取組型「スキンシップ、ハグ、よさ見つけ」などを案内する文書です。

## ◇「愛の鞭ゼロ作戦」(PDF:544KB)

「コロナ虐待」という言葉が生まれるほど、自棄ストレスでの虐待が心配されます。虐待が子どもの脳に与える影響を理解し、体罰によらない子育ての5つのポイントを学ぶことができます。

### 「愛の鞭ゼロ作戦」在宅取組案内文(Word:51KB)

保護者へ在宅取組型「愛の鞭ゼロ作戦」を案内する文書です。

## ◇「スマホのルール」(PDF:932KB)

スマホトラブルの事例、スマホを持つ上での約束、家庭でのルール例を紹介しています。

### 「スマホのルール」在宅取組案内文(Word:51KB)

保護者へ在宅取組型「スマホのルール」を案内する文書です。

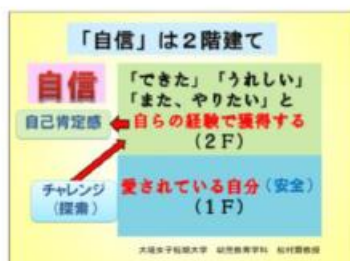


プレゼンの一部です

「おうちで家庭教育」は  
こちらから



【おうちで家庭教育】



「自信」は2階建て構造です。  
「愛されている自分」という1階があるからこそ、チャレンジをして、「できた」「うれしい」「また、やりたい」という経験を獲得できます。  
それが「自信」となり、「自己肯定感」につながっていきます。



最近、「コロナ虐待」という言葉が生まれています。子どもと一緒にいる時間が少なくなり、離れストレスで、親が子に(あるいは家族に)虐待をしてしまうことが増えているそうです。  
虐待をしている親は、「子どものため+しつけの一環」と考え、そのことを悪いとは思っていません。  
子どもが言うことを聞かない、おしをたいたり、大声で厳しく叱ったりすることがありますが、これらは虐待です。子どもの前で夫婦喧嘩をするのも虐待です。なぜなら、子どもにとっては、自分が傷つくほどつらいことなのです。  
脳科学の研究では、子ども時代に辛い体験をした人の脳には様々な変化が生じていることが報告されています。